

双方向壁面モニターによるグローバルに文化を共有できる社会

背景： スマートフォンやSNSの普及によりコミュニケーションの形が変容した。
在宅の仕事ではメールのやり取りのみ、家族間でもLINEなどによる文字だけの連絡が増え、
対面でのコミュニケーションの場が減ってきている。

提案： 公共の設備として**新しい対面コミュニケーションの場**を提案する。
双方向壁面モニターによって福岡市と姉妹都市を繋ぎ、文字通り国境を越えたコミュニケーションを可能とする。さらに現代から未来へのメッセージや、伝統・歴史を記録し過去から未来への情報を世界と後世に共有する。

メリット： 福岡市のグローバル化を推進
地域の文化や歴史の保存



画像 いらすとや

福岡の姉妹都市

アメリカ・オークランド市
フランス・ボルドー市
ニュージーランド・オークランド市
マレーシア・イポー市
韓国・釜山広域市
アメリカ・アトランタ市
ミャンマー・ヤンゴン市

友好都市

中国・広州市

双方向壁面モニターとは

テレビ電話のように常時接続する。接続場所は姉妹都市の中心部で公共性が高い場所、福岡側は天神や博多。付加機能としてリアルタイムの画面内文字翻訳 & 音声翻訳が行えると良い。以下に図を示す。

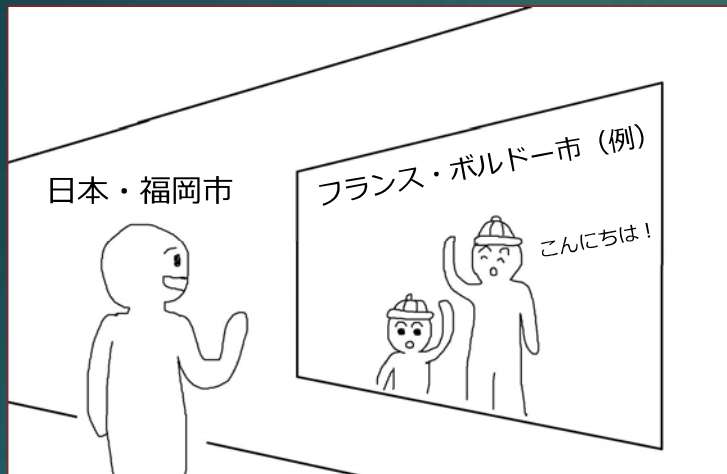


図1 双方向壁面モニターの設置イメージ

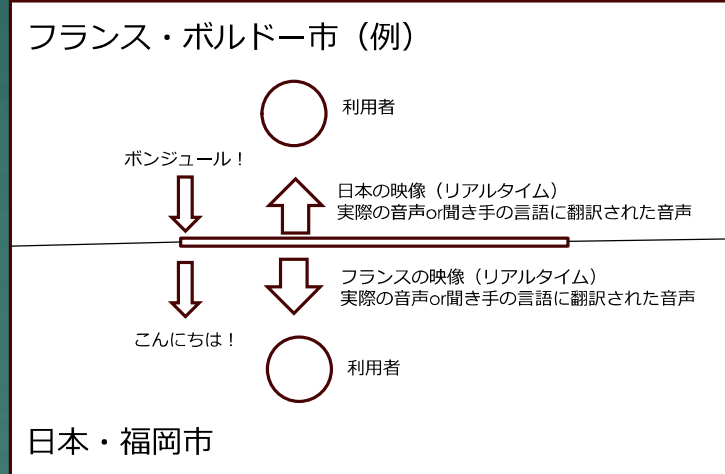


図2 双方向壁面モニターを上から見た図

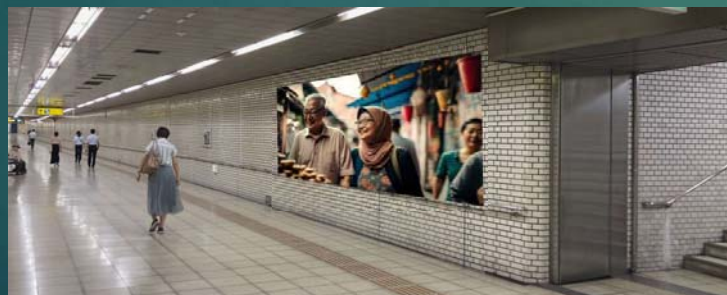


図3 双方向壁面モニターの設置例 (地下鉄赤坂駅地下通路)
挿入画像 123RF Free Images : virtosmedia



図4 双方向壁面モニターの設置例 (天神地下街)
挿入画像 123RF Free Images : virtosmedia

壁面モニターによる文化の保存

街中の巨大壁面モニターは有形無形に関わらず文化の保存・継承に適している。
私はこれを**空間のタイムカプセル**として提案する。

福岡に存在する保存すべき文化の一部
博多どんたく港まつり
博多祇園山笠 他

利用者が自由に過去の文化や歴史にアクセスできることで
社会全体で文化を絶やさず継承していくことが可能となる。

まとめ

公共の施設として街中に巨大な壁面モニターを設置し、海外と接続する。人々は独自にコミュニケーションを取り、お互いの文化を共有する。昔からのお祭りや世界水泳のようなイベントを景色として保存し、未来に残すことができればとても有意義なものになると考える。



図5 壁面モニターの設置例（博多-祇園間連絡通路）
挿入画像 撮影者 著者